

(一財) 前田一步園財団 平成 27 年度自然環境保全活動助成事業

## 勇払原野における自生ハスカップの今昔を可視化する

～分布調査および採取の記憶ヒアリング～

NPO法人苫東環境コモンズ

今回、助成いただいた事業は、勇払原野における自生ハスカップの今と昔を、GPSを用いて現状を調査し図化するとともに、大正時代頃から以降の開拓時代に、人々がハスカップとどのように共生してきたかを聞き取り記録することを目的にしています。可視化したデータ等は、2016年2月に開催された苫小牧市美術博物館主催の「ハスカップ企画展」に協力出品し、フォーラムのパネリストとして市民に向け報告しました。事業の実施状況は下記の通りです。活動は随時ホームページにアップしました。

### ■ハスカップ分布調査

勇払原野のハスカップ自生地は最も密度の高いサンクチュアリでの調査の結果では、原野というよりハンノキ林そのものでした。このような林の下で徒長したハスカップの一部では枯死状態のものも散見されました。これらはGPSによるグラフとドローンによる空中動画で記録し公表しました。改めて可視化されたことによってハスカップ自生地の保全についての理解と関心を深めることになりそうです。



↑GPSを用いた調査風景

## ■聞き取り調査

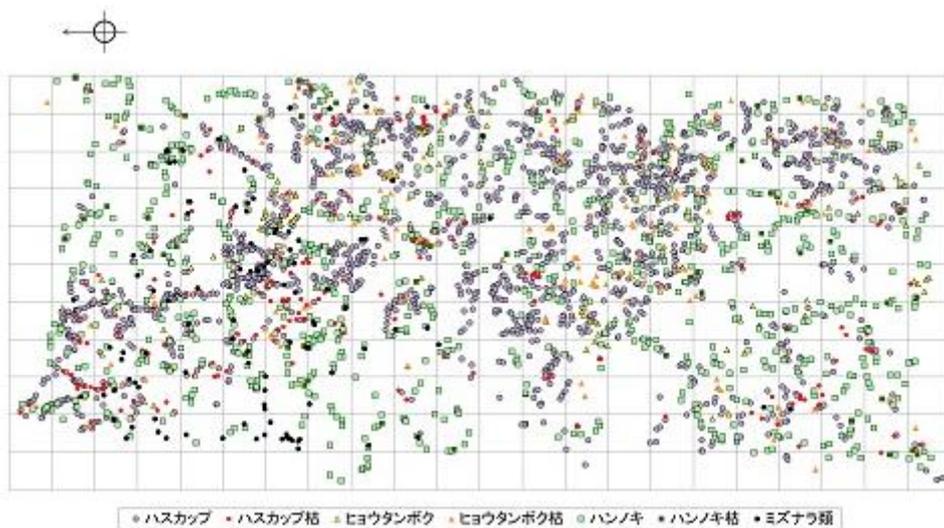
開拓時代から戦後にかけての生活空間におけるハスカップの様子は、計3回7名に伺いました。ハスカップ保全の行政施策、街づくりイベントとの関連、お菓子の商品開発の背景、農協の栽培の取り組みなどについても計4回5名に伺い記録しこれからの補足調査の協力も快諾していただきました。また、学識経験者等からのハスカップに関する原稿も収録し補完しました。



↑ 弁天地区の開拓後、錦岡へ移転し栽培している方々の訪問・聞き取り

## ■これから

今回の助成による二つの長のうち、グラフ等による可視化は下図のとおりです。これとドローンによる上空撮影動画によって、市民の方々からはハスカップをより身近に感じられたという感想が聞かれました。



↑ 過年度のGPS調査と合わせた計2ヘクタールのハスカップ分布図



↑2015年7月にドローンで撮影した  
ハスカップ・サンクチュアリの上空からの写真

市民共有の宝としてどのようにハスカップの自生地を保全していくかの関心の深まりは、再燃した感がありますが、なぞの多いハスカップの生態についてさらに研究者の調査研究と関係者の観察等が待たれます。市の美術博物館とNPOの連携事業としての調査も地元市民を中心にして継続されれば、コモンプール資源「ハスカップ」が持続的に共有される可能性が見えてきました。これからはこれらのデータやレポートにさらに市民のハスカップに関する思い出やエッセーを募集し、『ハスカップとわたし』（仮称）という市民史にまとめることとしています。

(おわり)